

アパグループ 2022 年 11 月期連結決算を発表

アパホテルネットワークとして全国最大の 719 ホテル 110,395 室(建築・設計中、海外、FC、アパ直参画ホテルを含む)を展開する総合都市開発のアパグループ(本社:東京都港区赤坂 3-2-3 CEO:元谷一志)は、2022 年 11 月期連結決算を発表した。

結果は、グループ連結売上高 1,382 億円(前期比 50.8%増)、経常利益 353 億円(前期比 369.5%増) と、前期対比増収増益となった。

依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、まん延防止等重点措置が 2022 年 3 月に解除されてからは、ホテルの需要が徐々に回復に向かい、特に 10 月からは、全国旅行支援やインバウンドの全面解禁により、急速に需要が拡大した。こうした需要の回復や感染者受入等のための一棟貸しが想定よりも長期化したことで、当期は大幅な増収増益となった。

2023 年 11 月期については、引き続きホテルの需要回復が見込まれるほか、分譲マンション「ザ・プレミア〈新潟駅 万代〉」の引き渡し等もあり、増収が見込まれる一方、水道光熱費や外注費、人件費等のコストの大幅な増加も予想されることから、減益となる見込みである。

<比較損益計算書>

(単位:百万円)

	2021年11月期	2022年11月期	前期比
売上高	91,656	138,237	+50.8%
営業利益	8,190	35,833	+337.5%
経常利益	7,522	35,315	+369.5%
当期純利益	3,938	21,728	+451.6%

【アパグループ】

アパグループはホテルネットワークとして全国最大の 719 ホテル 110,395 室 (建築・設計中、海外、FC、アパ直参画ホテルを含む)を展開している。2010 年 4 月にスタートした「SUMMIT 5 (頂上戦略)」を継承し、2022 年 4 月より新たな 5 ヶ年計画「AIM5~APA Innovative Movement」を始動。アフターコロナにおけるニーズの変化や DX 化の波を捉えながら、国内で圧倒的な No. 1 ホテルチェーンとなるべく、2027 年 3 月末までにアパホテルネットワークとして 15 万室展開を目指す。

■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します。

アパグループ東京本社 会長室

住所:東京都港区赤坂 3-2-3